

# 病院のご案内

I n f o r m a t i o n



笛吹中央病院



webでパンフレットが  
閲覧できます



## 理 念

# 『地域に信頼される病院』を目指します。

### 基本方針

私達は以下のことを重んじて行動します。

1. 患者さんの視点に立った優しい医療
1. 安全な医療
1. 医療水準向上のための研修と教育
1. 職域間の連携と和
1. 地域医療・福祉機関との緊密な連携



### 患者さんの権利とお願い

私たち笛吹中央病院は、医療を受けられる患者さんの権利を最大限尊重することを誓います。同時に患者さんにも医療を受ける者としての責務を遵守していただくことをお願い致します。

#### 患者さんの権利

1. 健康状態、現在の病気の状態、治療内容、治療の見通しについて、十分な情報と説明を納得するまで受けることができます。
2. 十分な情報提供を受けた上で、当院で治療を受けるか否か、さらには治療方法の選択を自らの意思で決めることができます。
3. 他の医師の意見を聞くために、他の医療機関を紹介してもらう（セカンドオピニオンを受ける）ことができます。
4. 診療情報は保護され、プライバシーは最大限尊重されます。
5. 自分の診療録の開示を求め、診療内容について説明を受けることができます。
6. 良好で快適な環境で医療を受けることができます。

#### 患者さんへのお願い

1. 適切な医療を受けるために、自らの健康状態、病歴、血縁者の病歴など、必要とされる情報を正確にお伝えください。
2. 他の患者さんの医療環境を乱す迷惑行為はご遠慮ください。
3. 医師、看護師など医療従事者の医療活動を故意に乱す行為はご遠慮ください。
4. 病院敷地内禁煙、禁酒をお守りください。
5. その他、院内規則をお守りください。





# 「地域医療機関と専門医療機関の両立を目指して」

笛吹中央病院 院長 瀧山 嘉久

令和4年11月1日に笛吹中央病院院長を拝命しました瀧山嘉久と申します。平成18年に旧石和町立峡東病院を引き継ぎ笛吹中央病院が開院して16年が過ぎました。これまで一貫して「地域に信頼される病院」を目指して、救急医療体制の整備による地域貢献を最重要課題として取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の収束の兆しはなかなか見えてきません。当院は、地域医療を担う中核病院として社会的責任を果たすべく、山梨県のCOVID-19重点医療機関となり患者さんの治療に懸命に取り組んでいます。

当院のモットーとして「救急から在宅医療まで幅広く対応できる地域医療機関」であり、加えて「山梨県内外の患者さんに貢献できる専門医療機関」でありたいと考えています。専門医療機関の一つとして、高い水準の医療ができる神経難病センター機能をもつ病院を目指したいと思えます。

武田信玄公の「為せば成る 為さねば成らぬ 為る業を 成らぬと捨つる 人の儂き」の気概をもち、「人は城 人は石垣 人は堀 情けは味方 讎は敵なり」の言葉に学んで、地域医療、専門医療に貢献できる人材を育てたいと思えます。さらに職員がやりがいを持って働くことができる環境を整え、職員一丸となって患者さんの視点に立った、安心、安全、最良の医療をご提供したいと考えています。患者さんの声を診療の現場に取り入れていけるように、是非とも忌憚りの無いご意見をお寄せいただければ幸いです。

今後とも皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



## 院長プロフィール

山梨大学名誉教授／前山梨大学医学部神経内科学講座教授／山梨医学会会長／日本神経学会認定専門医、指導医／日本内科学会認定医

## 2次救急指定病院・地域災害拠点病院



笛吹市の輪番制救急指定病院として、地域の急性期医療を担っています。年間1,200件を超える救急車の受入れを行っております。24時間、365日体制で、可能な限り救急患者さんの対応に応えるべく、医療機器の充実、スタッフの技術の向上に努めています。

山梨県の峡東地域の地域災害拠点病院として指定を受けております。何時起こるかわからない大規模災害（地震、洪水、火災、交通事故など）発生時には、傷病者の受け入れや医療救護班の派遣・受入、広域搬送手配等の中心的役割を担っています。独自に大規模災害訓練を実施し、スタッフの知識の向上に努めています。また、日本全国で発生した災害において、被災地にて迅速な災害医療を提供するDMAT（災害派遣医療チーム）を保有しています。



# 信頼の医療を地域のみなさまに

急性期医療から慢性期医療、予防健診医療を実践し、高度な医療機器とともに幅広い医療ニーズに対応いたします。

## 急性期医療

急性期医療とは、病気を発症して間もない時期に、病状の進行を食い止め、状態が安定するまで行う医療措置です。命に関わる危険性のある場合や、急性期の適切な処置がその後の経過を左右するため、迅速かつ高度な医療技術を提供しています。

## 慢性期医療

慢性期医療とは、急性期の状態を脱して、病状が継続して安定している状態の医療措置です。治療のみならず介護との連携を図り、患者さんのQOLに応じた適切な医療を様々な職種が連携して提供しています。

## 予防医学

今日の健康を明日も維持するためには、まずは予防。当院では人間ドック、成人病健診など健診システムを有し、わかりやすい説明で疾病の早期発見、早期治療に努めています。

## 災害医療

突然発生する災害に、限られた医療資源（医療スタッフ、医薬品等）を最大限に活用し、可能な限り多数の傷病者の治療を行う事が当院の使命です。災害時における適切な医療技術をすべての医療職員が習得しています。

## 救急医療

生命の一刻を争う緊急時に地域の二次救急医療機関として、24時間365日体制で救急患者さんの対応に応えるべく、迅速かつ的確な診断、治療が行える体制を整備しております。

## 治療設備



### ◆ 内視鏡検査

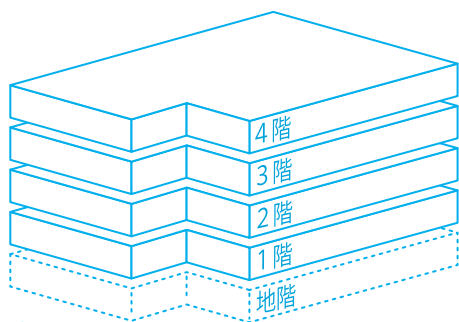
柔らかい細い管を挿入することによって体内の様子を確認できる精密かつ正確な検査です。上部消化管内視鏡、下部消化管内視鏡、気管支内視鏡を行っています。内視鏡治療として、ポリープ切除術（ポリペクトミー）、粘膜切除術（EMR）等があります。当院では、苦痛の少ない経鼻内視鏡を取り入れております。



### ◆ 人工透析

当院では、医療の質を維持・向上させるために県内初のオンラインHDFを導入しました。オンラインHDFは、透析液を清浄化することにより行うことができる透析療法の一つで、透析時の血圧低下、皮膚掻痒症、透析アミロイドーシス、イライラ感、腎性貧血などの発生の少ない良い方法です。

## フロア案内



### ◆地階

- 災害用備蓄倉庫

### ◆1階

- 診察室
- 救急室
- 処置室
- 内視鏡センター
- レントゲン
- CT
- MRI
- マンモグラフィ
- 骨密度測定
- 生理検査室
- 人間ドック・健診
- 売店

### ◆2階

- リハビリテーションセンター
- 血液浄化センター
- 地域包括ケア課
- 病室 (201～220、HCU) [52床]

### ◆3階

- 手術室
- 病室 (301～321、HCU) [54床]
- 薬剤科

### ◆4階

- 厨房
- 病室 (401～410、451～458、HCU) [44床]

## 病院概要・診療科目・専門外来

### ◆病院概要

- 開設 平成18年6月3日
- 病床数  
一般病床 150床 (2階:52床 3階:54床 4階:44床)
- 敷地面積 7523.35㎡
- 床面積 8445.98㎡

### ◆診療科目

- 内科
- 呼吸器内科
- 消化器外科
- 脳神経外科
- 耳鼻咽喉科
- 小児科
- リハビリテーション科
- 消化器内科
- 外科
- 整形外科
- 眼科
- 皮膚科
- 麻酔科

### ◆専門外来

- そけいヘルニア外来
- 頭痛外来
- 野球肘外来
- 下肢スポーツ疾患専門外来
- 胆石・腹腔鏡外科外来
- 補聴器外来
- 上肢スポーツ専門外来
- 認知症外来

### ◆各種部門

- 診療部 (各診療科、診療補助課)
- 看護部  
(2・3・4病棟看護科・外来看護科・手術看護科・血液浄化看護科・退院支援看護科)
- 診療技術部  
(放射線技術科、リハビリテーション技術科、検査科、栄養科、臨床工学科、薬剤科)
- 事務部 (医事課、総務課、経理課、健康管理課、地域包括ケア課、診療情報管理課)
- 安全管理部 (医療安全管理課、感染管理課)



### ◆CT

CTはX線を利用し体の横断面を撮影できます。全身のスクリーニングから特定部位の精密検査と幅広く用いられ、苦痛なく非常に短時間に検査が可能です。



### ◆MRI

非常に強い磁力を使って全身を色々な断面で撮影できます。CTとは違い、主に脳や筋肉、軟部組織の疾患の検査に利用されます。また、血液の流れを撮影(MRA)も可能で、動脈瘤の検索等に利用されます。



# 高度な医療技術が「安心」を生みだします

当院では、腹腔鏡や関節鏡による内視鏡下手術を積極的に導入し、高度な技術を患者さんに提供する体制を整備しています。

## 腹腔鏡手術

### ◆腹腔鏡手術とは

腹腔鏡手術は2mm から12mm の小さい孔を腹壁に数個あけて行う術式です。従来の大きく開腹して行う手術に比べて、術後の痛みがとてもなく、早期退院が可能です。たとえば鼠径ヘルニアや胆嚢摘出術では通常3～5日、大腸手術は7～10日程度で退院できます。また、開腹手術の合併症である腸閉塞は傷が小さいためほとんど起きません。当院では最新機器（写真左：ハイビジョンカメラモニター、写真中央：電気メスVIOと超音波切開凝固装置）を導入し、より安全に腹腔鏡下手術が行える環境を整えております

### ◆単孔式腹腔鏡下手術とは

単孔式手術は胆嚢摘出術、虫垂切除術に対して行っています。その名のごとく臍<sup>へそ</sup>を切開するのみで行う手術で、術後しばらくすると手術の跡がわかりません（写真右）。当院では2名の日本内視鏡技術認定医が安全で確実に最新機器を用いて単孔式手術を行っています。

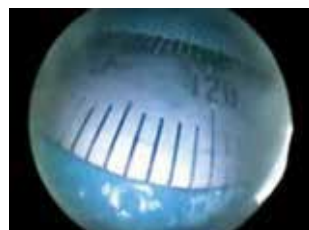


## 関節鏡手術

五十肩のほとんどは、『腱板断裂』であるといわれています。肩の深い部分に存在する腱板と呼ばれる筋群の損傷により肩の痛みや、肩を挙げるできないといった症状を引き起こします。特に『夜間痛』が特徴的です。切れてしまった腱板が自然とつながる可能性は非常に低いとされています。当院では、大きく切開することなく関節鏡を用いて腱板修復術を行っています。



断裂部



関節鏡を通してみた定規です。ミリ単位の手術が可能です。



手術では麻酔科の先生に全身麻酔をしてもらいます。



手術後の傷の写真です。あまり目立ちません。

# 医療の質の向上に向けて

## 日本医療機能評価機構の認定施設

病院機能評価とは、病院が質の高いサービスを提供するための支援を目的に、(財)日本医療機能評価機構が第三者機関として中立的な立場で医療機関を評価している認定制度です。当院では、「信頼される病院」、を旨とすることが私たちの使命であると認められ、2007年に初めて受審し、認定基準を達成していると認められ認定証が交付されました。

## 施設・学会・実習認定

### ◆施設認定

- ・健康保険取扱指定医療機関
- ・生活保護法指定医療機関
- ・労災保険指定医療機関
- ・介護保険法みなし指定機関
- ・第二次救急医療病院群輪番制病院
- ・山梨 DMAT 指定医療機関
- ・国民健康保険取扱医療機関
- ・結核予防法指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・地域災害拠点病院
- ・原爆被爆者指定医療機関

### ◆学会認定

- ・日本外科学会外科専門医制度関連施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼働認定施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設

### ◆実習施設

- ・甲府看護専門学校第1学科実習施設
- ・理学療法士・作業療法士学生実習施設
- ・薬剤師学生実習施設
- ・管理栄養士学生実習施設
- ・医療事務学生実習施設

## 電子カルテ

当院では、平成24年4月より電子カルテを導入しております。電子カルテとは、患者さんの容態や治療過程を記すカルテを、手書きから電子データ化したものです。

電子データ化により、患者さんの病歴や、投薬過程などが、容易に検索・抽出可能になります。システムの導入は、スムーズな診療と早期判断を可能にします。

医療の現場では、診療の情報を異なる全ての部門で共有することで、患者さんの状態を連動して確認することができます。これにより、検査や投薬のなどの診療状況がひとつのデータとしてまとめられ、各部署からアクセスできることでスムーズな業務が可能になりました。

## 安全管理部

安全管理部では、専従の安全、感染管理者により、当院の理念である「患者さんの視点に立った優しい医療」「安全な医療」を遂行すべく、多職種で連携し、日々安全活動を行っています。ですが、日々進歩していく医療現場において、患者さんのご協力なくして安全な医療を語ることはできません。患者さんにご家族の皆様にも、この連携の輪に参加していただくことがとても重要です。検査や処置の際は、お名前を名乗っていただくなど、是非ご協力をお願いいたします。また、医療安全、感染に関するご相談があれば遠慮なくお話し下さい。

# 笛吹中央病院における個人情報の取扱いについて

笛吹中央病院では、患者さんの個人情報を下記の目的で収集・利用し、その取扱いには万全の体制で取り組んでいます。なお、下記要項におきまして患者さんより特別な異議・申し立てがない限りは、同意を頂いたものとさせていただきます。

ご不明な点や異議・申し立てを行うご意志がありましたら、お気軽に職員までお申し出ください。

## 当院での患者さんの個人情報の収集・利用目的

### 1. 院内での利用

1. 患者さんに提供する医療サービス
2. 医療保険事務
3. 入退院等の病棟管理
4. 会計・経理及び受付（患者さんの呼び出し行為含む）
5. 医療事故等の報告
6. 当該患者さんへの医療サービスの向上
7. 院内医療実習への協力
8. 医療の質の向上を目的とした院内症例研究
9. 各病棟、病室入口患者さん名簿
10. その他、患者さんに係る管理運営業務

### 2. 院外への情報提供としての利用

1. 他の病院、診療所、助産院、調剤薬局、訪問看護ステーション、介護サービス、事業者等との治療を目的とした連携
2. 他の医療機関等からの照会への回答
3. 患者さんの診療等のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合（セカンド・オピニオン）
4. 検体検査業務等の業務委託
5. ご家族などへの病状説明
6. 審査支払機関または保険者への診療報酬請求書の提供と、これらの機関等からの照会への回答
7. 事業者等から委託を受けた健康診断に係る、事業者等へその結果通知
8. 医師賠償責任保険等に係る、医療に関する専門の団体や保険会社等への相談または届出等
9. その他、患者さんへの医療保険事務に関する利用

### 3. その他の利用

1. 医療・介護サービスや業務の維持・改善のための基礎資料
2. 外部監査機関への情報提供
3. 警察署・消防署等への情報提供
4. 山梨県及び保健所が行う一日看護師事業への協力

## 患者さんの呼名・記名について

当院では、患者さんの取り間違い等による医療事故の防止という目的から患者さんのお名前を呼名（記名）させていただいております。しかしながら、呼名や記名を望まれない患者さんがいらっしゃいましたら、個別に対応させていただきますので、ご希望の方は職員までお申し出ください。

また、一度ご提出やお申し出頂いた内容に関していつでも訂正が可能ですので、お気軽にお申し出ください。

◎ご不明な点や相談、苦情等ございましたら個人情報保護相談窓口担当まで遠慮なくお問い合わせください。





## 菅吹中央病院

〒406-0032 山梨県菅吹市石和町四日市場 47-1  
 TEL.055-262-2185 FAX.055-262-5985  
 E-mail fuefukihp@fch.or.jp  
 URL <https://fch.or.jp/>



### ◆外来受付時間

◇月曜日～金曜日

午前 8:00～12:30 午後 1:30～5:00

◇土曜日

午前 8:00～12:30

※日曜日・祝日休診

※午前診療は午前9:00開始、午後診療は14:00開始となります。

※諸般の事情でやむなく休診や診療時間が変更となる場合があります。

※曜日・診療科によっては診察のない時間帯もございますので、ご来院前にご確認ください。



・当院は日本医療機能評価機構の認定病院です。